

LINE 公式アカウントの作り方と Apps AI へのつなぎ方 (画面つきマニュアル)

対象: Apps AI を使うメーカーの担当者。LINE 公式アカウントを**自社の LINE Business ID** で作り、Apps AI の「LINE 連携」につなぐまでを、画面の順に説明します。所要 30～40 分。2026-10-07 版 (v3)。

目次

- | | |
|--|-------------------------------------|
| 0. はじめに（誰が・何を・用意するもの） | 7. Webhook を設定する（LINE Developers） |
| 1. LINE Business ID を作る（すでにあればログインするだけ） | 8. 応答メッセージをオフにする |
| 2. LINE 公式アカウントを作る（組織の選択まで一続き） | 9. LINE ログイン（LIFF）を足す（店のログイン無し・5 分） |
| 3. 組織（ビジネスマネージャー）を選ぶ・つなぐ | 10. 動くことを確かめる（実機・テスト担当者だけで） |
| 4. Messaging API を使う（チャンネル ID・チャンネルシークレット） | 11. 導入先（店）への案内 |
| 5. チャンネルアクセストークン（長期）を発行する（LINE Developers） | 12. 2 人目の管理者と、Apps に手伝ってもらうときの権限 |
| 6. Apps AI に貼る（メーカー管理画面「LINE 連携」） | 13. 困ったとき |
| | 14. 料金・認証・個人情報 |

0. はじめに（誰が・何を・用意するもの）

[↑ 目次](#)

本番の LINE 公式アカウントは、**メーカー（貴社）が契約・運用の主体として、自社の担当者が自社の LINE Business ID で作り、自社の組織（ビジネスマネージャー）とプロバイダーで管理**します。Apps は設定の支援だけで、作成も管理もしません。LINE の公式ガイドも「サービスを提供する会社のプロバイダーの下にチャンネルを作る」ことを推奨しています。

チャンネルシークレット・チャンネルアクセストークンは「秘密」です。Apps AI の欄以外に書かない・送らない。Zoom で画面共有して付き添うときは、秘密が画面に出る場面で共有を止め、録画にも残さないください。

用意するもの

- 担当者 2 人（1 人に依存しないため。公式アカウント・組織・プロバイダー・チャンネルの管理者を 2 人以上にする。ID とパスワードの共用はしない）

- 会社のメールアドレス（受信できるもの）・スマホ（登録時に SMS か通話で電話番号の確認が入ることがある）・2 段階認証の手段（メール認証／認証アプリ／SMS のどれか。メール＋パスワードの Business ID は 2 段階認証が必須）
- PC（LINE Developers の設定は PC が楽）
- 会社の正式名称・所在国/地域・所在地・業種
- すでに LINE Business ID・組織・プロバイダーを持っているかの確認（あれば新しく作らず、それを使う）
- Apps AI のメーカー管理画面にログインできること（貴社の Apps アカウント）

手順	どこで	目安
1～3 Business ID と公式アカウントを作る（組織の選択を含む）	LINE（ブラウザ）	10 分
4～5 Messaging API・トークン	LINE Official Account Manager と LINE Developers	10 分
6～8 Apps AI に貼る・Webhook・応答設定	Apps AI と LINE Developers	10 分
9～10 実機で確かめて店に案内	スマホの LINE と導入先ポータル	10 分

1. LINE Business ID を作る（すでにあればログインするだけ）

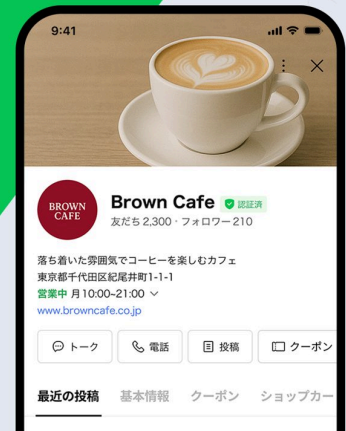
[↑ 目次](#)

約3分でかんたん作成！

LINE公式アカウントをはじめよう

LINE公式アカウントは、PCまたはスマートフォンより簡単に作成いただけます。

LINE公式アカウントをはじめる



アカウント作成はかんたん3ステップ

STEP
01

ビジネスIDの登録

「LINE公式アカウントをはじめる」のボタンを押していただくと
ビジネスIDの登録画面が表示されます。



図1 LINE 公式アカウントの入口 (<https://entry.line.biz/start/jp/>)。「LINE公式アカウントをはじめる」を押す

1. <https://entry.line.biz/start/jp/> を開き「LINE公式アカウントをはじめる」を押す（図1）。
2. Business ID の「新規登録」で「メールアドレスで登録」を選ぶ（図2）。LINE アプリの個人アカウントでは登録しない（会社の ID にするため）。
3. 会社のメールアドレスを入れる → 届いたメールのリンクを開く → 名前・パスワードを決める。登録の途中で SMS か通話による電話番号の確認が入ることがある（これは登録時の本人確認）。
4. 2 段階認証を設定する（ログインのたびに使う。メール認証／認証アプリ／SMS のどれか）。バックアップコードが出たら控えて保管する。
5. 2 回目以降は <https://manager.line.biz/> を開くとログイン画面になる（図3）。「メールアドレス」を押してメールアドレスとパスワードで入る。LINE Developers（手順 5）も同じ Business ID で入る。



図2 Business ID の「新規登録」。「メールアドレスで登録」を選ぶ



図3 Business ID のログイン画面（2回目以降はここから）。「メールアドレス」を押してメールアドレスとパスワードで入る

2. LINE 公式アカウントを作る（組織の選択まで一続き）

[↑ 目次](#)

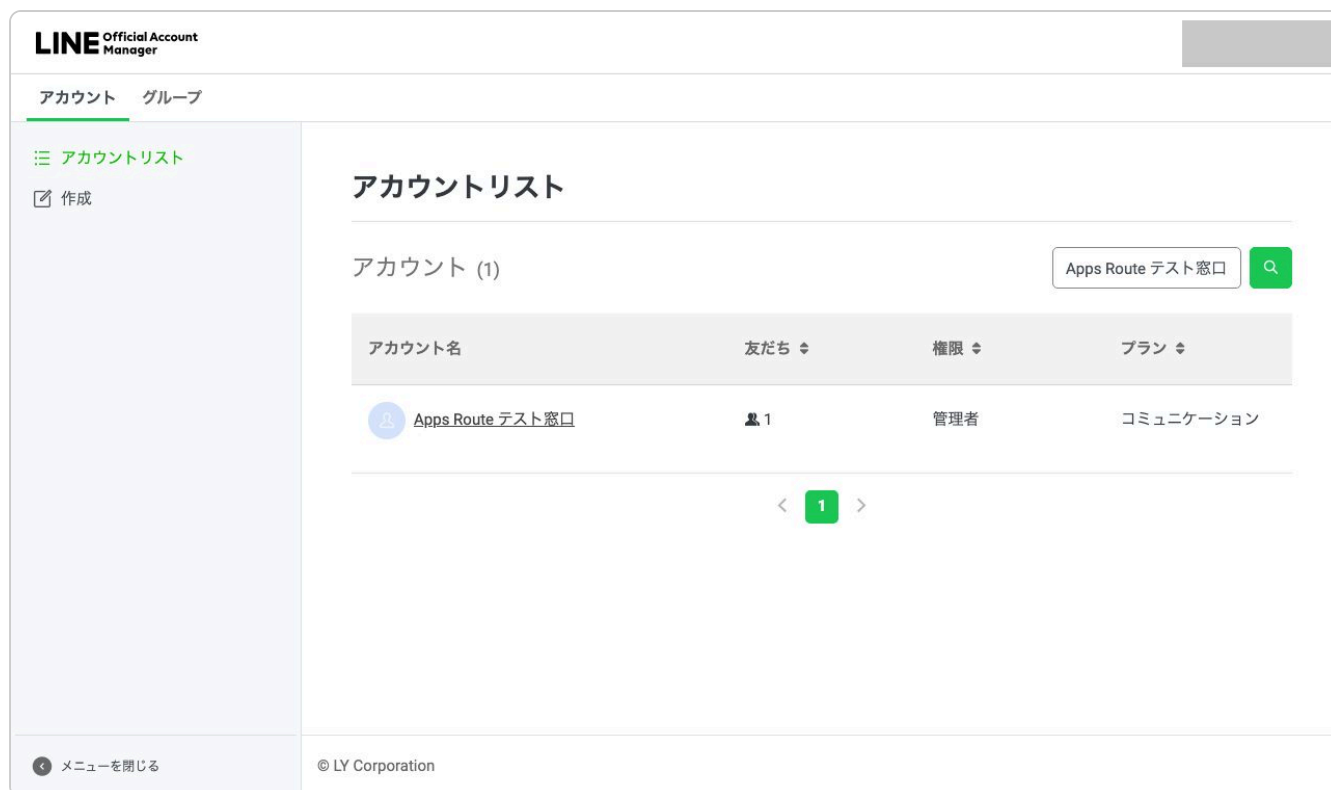


図4 LINE Official Account Manager のアカウントリスト。左メニューの「作成」から新しい公式アカウントを作る

1. LINE Official Account Manager (<https://manager.line.biz/>) の左メニューで「作成」を押す（図4）。
2. フォームに入れる（図5）：アカウント名「(会社名) 発注窓口」（例。貴社が決める。導入先のLINEに表示される名前）／メールアドレス（会社）／会社・事業者の所在国・地域（組織と同じ国にする）／会社・事業者名（正式名称）／業種（近いもの）／運用目的「お問い合わせに対応したい、お客さんとチャットしたい」／主な使い方「上記以外の使い方」。
3. 続けて組織（ビジネスマネージャー）を選ぶ画面になる。選び方は3節。
4. 規約の同意画面は内容を確認し、同意する権限のある担当者が同意する。任意の「情報提供に同意」などは入れなくてよい。
5. 作成が終わるとアカウントの管理画面（ホーム）が開く。

The screenshot shows a web form for account creation. It is divided into two main sections: 'ログイン情報' (Login Information) and 'アカウント情報' (Account Information).

ログイン情報 (Login Information):

- ユーザー名 (Username):** A text input field containing '百利商事 発注窓口' and a 'ログアウト' (Logout) button.
- サービス対象国・地域 (Service Target Country/Region):** A dropdown menu set to '日本' (Japan), with a note: '日本の料金プランが適用されます。' (Japanese pricing plan will be applied).

アカウント情報 (Account Information):

- アカウント名 (Account Name):** A text input field containing '百利商事 発注窓口' with a character count '9/20'. A note below says: 'LINEの友だちリストやトーク画面に表示される名称です。' (This is the name displayed on the LINE friend list or chat screen).
- メールアドレス (Email Address):** A text input field with a character count '0/240'.
- 会社・事業者の所在国・地域 (Country/Region of Company/Business):** A dropdown menu set to '日本'.
- 会社・事業者名 (Company/Business Name):** A text input field containing '百利商事' with a character count '4/100'.
- 業種 (Industry):** Two dropdown menus, the first set to '商業' (Commerce) and the second set to '商社' (Trading Company).
- 運用目的 (複数選択可) (Operational Purpose (Multiple Selection Possible)):** A list of checkboxes:
 - ☐ お店を知ってもらいたい、興味を持ってもらいたい (I want to let you know about my store, I want to get your interest)
 - ☐ 来店してもらいたい、リピーターになってもらいたい (I want you to visit my store, I want you to become a repeat customer)
 - ☐ 潜在顧客・見込み顧客を集めたい (I want to collect potential customers/prospects)
 - ☒ お問い合わせに対応したい、お客さんとチャットしたい (I want to respond to inquiries, I want to chat with customers)
 - ☐ ホームページ・SNSの代替として使いたい (I want to use it as an alternative to my homepage/SNS)

A blue circular arrow icon is located in the bottom right corner of the form area.

図5 作成フォームの入力例（画面の上半分: ログイン情報・アカウント名・メールアドレス・所在国/地域・会社名・業種・運用目的）。「主な使い方」と組織の欄はこの下に続く

アカウント名は後から変えられます。「(会社名) 発注窓口」は例です。

3. 組織（ビジネスマネージャー）を選ぶ・つなぐ

[↑ 目次](#)

図6（画面の説明）：新規作成の途中で組織（ビジネスマネージャー）を選ぶ画面が出る。選び方は 3 つ＝「管理者の組織を選択」（自分が管理者の組織の一覧から）／「組織 ID で選択」（組織 ID を入れて「URL を発行」→ 接続リクエスト用の URL を組織の管理者に渡し、管理者が開いて同意）／「組織を作成」（会社名で新しく作る）。作成済みで未接続のアカウントは、設定、アカウント設定の「ビジネスマネージャー」の枠の「接続する」から同じ 3 つを選ぶ。

公式アカウントは会社の「組織」に接続します（新規作成では必須。操作には公式アカウントの「管理者」と、組織の管理者の権限が要ります）。

- 1. 既存の組織があればそれを選ぶ:** 自分が組織の管理者なら「管理者の組織を選択」。管理者でなければ「組織 ID で選択」→ 組織 ID を入力 → 「URL を発行」→ 接続リクエスト用の URL を社内の組織の管理者へ渡す → 管理者がその URL を開いて同意 → 接続完了を確かめる。
- 2. 無ければ「組織を作成」:** 会社名で作る（1 社 1 組織。所在国・地域を聞かれる。公式アカウントの所在国・地域と合わせる）。
- 3. 作成済みで未接続のアカウントは、設定、アカウント設定の「ビジネスマネージャー」の枠の「接続する」から同じ 3 つを選ぶ。**

ビジネスマネージャーの「組織の認証審査」は進めなくてよい。 組織を作る・つなぐと、ビジネスマネージャーの画面に「組織の認証審査」（ビジネス情報追加 → メール認証 → アカウント・チャンネルを接続 → 組織認証申請 → 接続審査 の 5 ステップ）が出るが、Apps AI とのつなぎ（4 節からの Messaging API・Webhook・LINE ログイン）には要らない。組織は「未認証」のままで 4 節へ進む。ステップ 3 の注意書き「LINE 公式アカウントを接続して利用する場合、Step3 を完了するには認証済アカウントである必要があります」は、組織の認証審査を完了させるときの条件で、公式アカウントを使うための条件ではない（組織の認証で増えるのは、複数のアカウント間でのオーディエンス・タグの共有や横断のインサイトなど。Apps AI では使わない）。公式アカウントが組織につながっているかは、設定・アカウント設定 の一番下「組織（ビジネスマネージャー）」欄で分かる＝組織名と組織 ID が出ていれば接続済み（作成時に組織を選んでいれば通常この状態）。「接続する」のボタンなら、上の 3 つのどれかで接続する（接続に認証は要らない）。認証済アカウントを申請する場合（任意・後でよい・14 節）は、公式アカウントの認証 → 組織の認証審査 の順になる。

他社（Apps を含む）の組織には接続しません。第三者が契約主体のアカウントを自分の組織に接続することは、LINE の規約で原則禁止です。

4. Messaging API を使う（チャンネル ID・チャンネルシークレット）

[↑ 目次](#)

図7（画面の説明）：公式アカウントの 設定・Messaging API を開くと、未設定なら緑の「Messaging API を利用する」ボタンだけがある。押すとプロバイダーを選ぶ（または新規作成する）画面 → 同意 → 完了。設定後はこの画面に「ステータス: 利用中」・プロバイダー名・チャンネル ID・チャンネルシークレットが出る（秘密なので図にしていない）。

1. 公式アカウントの 設定・Messaging API を開き「Messaging API を利用する」を押す（公式アカウントの「管理者」だけができる）（図7）。初めてのときは、ここで開発者の名前とメールアドレスの登録を求められることがある（求められたら入れる）。
2. プロバイダーを選ぶ: **既存の自社のプロバイダーがあればそれを選ぶ**。無ければ「新規作成」で会社の正式名称を入れる。
3. 同意 → 完了。画面に**チャンネル ID**（数字）と**チャンネルシークレット**（32 文字）が出る。控えずに、手順 6 でこの画面からコピーして Apps AI に直接貼る。

プロバイダーは**後から変えられません**。別の会社・ツール会社のプロバイダーを選ばないでください。既存のプロバイダーを選ぶには、操作する担当者にそのプロバイダーの Admin 権限が要ります。候補に出なくても「無い」と決めず、社内の管理者に確かめてください。

5. チャネルアクセストークン（長期）を発行する（LINE Developers）

[↑ 目次](#)



図8 LINE Developers のプロバイダー一覧（操作例。図のプロバイダーは Apps のテスト用。貴社では貴社のプロバイダーを開く）

1. <https://developers.line.biz/console/> を同じ Business ID で開く（図8）。自社のプロバイダー → 公式アカウントと同じ名前のチャネルを開く。
2. タブ「Messaging API設定」を開き、一番下の「チャネルアクセストークン（長期）」の「発行」を押す（図9）。
3. 出た長い文字が「チャネルアクセストークン（長期）」。手順 6 でこの画面から直接コピーして貼る（メール・チャット・メモに書かない）。

図9（画面の説明）：「Messaging API設定」タブの一番下に「チャネルアクセストークン（長期）」の枠があり、未発行なら「発行」ボタン、発行済みなら長い文字（トークン）と「再発行」ボタンが出る（秘密なので図にしていない）。

「再発行」すると前のトークンは使えなくなり、Apps AI からの知らせが止まります。再発行したら Apps AI に貼り直して保存 → Webhook の検証 → 実機確認までやり直してください。漏れた疑いで再発行するときは、前のトークンの有効期間を延ばさないでください。

6. Apps AI に貼る（メーカー管理画面「LINE 連携」）

[↑ 目次](#)

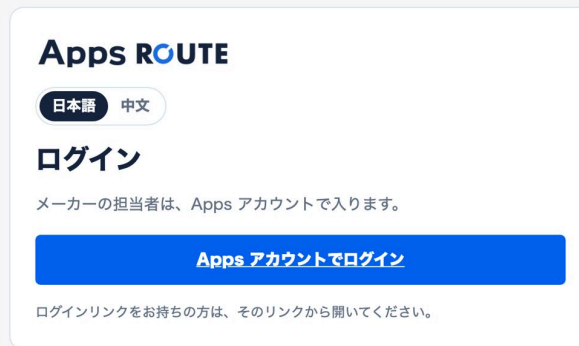


図25 Apps AI のログイン（<https://app.apps-ai.com/login>）。「Apps アカウントでログイン」

1. <https://app.apps-ai.com/login> を開き「Apps アカウントでログイン」（図25）。貴社の Apps アカウントで入る。
2. 左メニュー「ツール連携」>「LINE の設定を開く」で「LINE 連携」の面を開く（図10）。
3. チャンネル ID・チャンネルシークレット・チャンネルアクセストークン（長期）を貼る（図11）→「LINE につないで保存」。
4. 札が「Webhook の検証待ち」になり、公式アカウントの名前が出る（図12）。同じ面の「Webhook URL」の「コピー」を押す（本番は <https://app.apps-ai.com/api/line/webhook/<メーカーの名前>>）。



図10 Apps AI メーカー管理画面、左メニュー「ツール連携」、 「LINE の設定を開く」 = 「LINE 連携」の面。最初は「未設定」

Apps

ルート美容機器株式会社 (架空)
メーカー管理画面

現在地

対応一覧 11

問い合わせ

台帳

支払いの設定

LINE の見え方

今月の報告

他の機能を追加

ツール連携

アカウント

ログインの設定

ログアウト

ルート美容機器株式会社 (架空) > ツール連携 > LINE 連携

日本語 中文 ル

LINE 連携

メーカーの LINE 公式アカウントをつなぎ、導入先の LINE に対応を知らせる

いまの状態

未設定

まだ LINE 公式アカウントをつないでいません。下の欄に LINE Developers の値を入れると、導入先の LINE に要
対応を知らせられます。

設定する

チャンネル ID

1234567890

LINE Developers > チャンネル基本設定

チャンネルシークレット

.....

同じ画面の「チャンネルシークレット」(32 文字)。Webhook の署名の確かめに使います

チャンネルアクセストークン (長期)

.....

Messaging API 設定の「チャンネルアクセストークン (長期)」を発行して貼ります。保存すると画面には末尾の4文字だけ出ます

LINE につないで保存

LINE ログイン (店のログイン無し)

未設定

設定すると、店はメーカーから届いた登録リンクを LINE で 1 回タップするだけでつながり、トークの下ボタンと
知らせのボタンはログイン無しでその面が開きます (LINE が本人確認)。メールもパスワードも要りません。

先に上の「設定する」で LINE 公式アカウントをつないでください

LINE Developers に入れる値

図11 3 つの欄に貼る (例)。貼れたら「LINE につないで保存」

Apps

ルート美容機器株式会社 (架空)
メーカー管理画面

現在地

対応一覧 11

問い合わせ

台帳

支払いの設定

LINE の見え方

今月の報告

他の機能を追加

ツール連携

アカウント

ログインの設定

ログアウト

ルート美容機器株式会社 (架空) > ツール連携 > LINE 連携

LINE 連携

メーカーの LINE 公式アカウントをつなぎ、導入先の LINE に要対応を知らせる

いまの状態

Webhook の検証待ち

公式アカウント

Webhook

チャネル ID

チャネルシークレット

チャネルアクセストークン

最後に確かめた日時

リッチメニュー

今月の知らせ

届かなかった知らせ

ルート美容機器 発注窓口 (検算) @e2ebot

まだ届いていません。LINE Developers の Webhook 設定で「検証」を押してください

1234567890

末尾 cdef (保存済み・画面には出ません)

末尾 6d2a (保存済み・画面には出ません)

2026-10-15 17:36

2026-10-15 17:36 に入力しました (注文する・注文の状況・問い合わせ)。導入先の LINE のトークの下に出ます

LINE が受け付けた 0 通 (無料のプランは月 200 通まで。案件と問い合わせの返信の知らせを数え、友だち追加などへの自動の返事は数えません。届いたかは LINE 側の記録)

今月 0 通

もう一度つなぐ

リッチメニューを入れ直す

設定を外す

設定を変える

チャネル ID

1234567890

LINE Developers > チャネル基本設定

チャネルシークレット

同じ画面の「チャネルシークレット」(32 文字)。Webhook の署名の確かめに使います

チャネルアクセストークン (長期)

Messaging API 設定の「チャネルアクセストークン (長期)」を発行して貼ります。保存すると画面には末尾の4文字だけ出ます

LINE につないで保存

LINE ログイン (店のログイン無し)

未設定

設定すると、店はメーカーから届いた登録リンクを LINE で 1 回タップするだけでつながり、トークの下ボタンと知らせのボタンはログイン無しでその面が開きます (LINE が本人確認)。メールもパスワードも要りません。

LIFF アプリの「エンドポイント URL」に貼る値

http://127.0.0.1:63116/liff/route

コピー

設定の手順 (LINE Developers 側・5 分)

LIFF ID

2001234567-AbCdEfGh

LINE Developers > LINE ログインのチャネル > LIFF タブ

LINE ログインのチャネル ID

2001234567

同じチャネルの「チャネル基本設定」タブ。Messaging API のチャネル ID とは別の番号です

LINE ログインを保存

LINE Developers に入れる値

Webhook URL

http://127.0.0.1:63116/api/line/webhook/route

コピー

Messaging API 設定の「Webhook URL」に貼り、「検証」が成功したら「Webhook の利用」をオンにします

設定の手順 (LINE 側)

導入先への案内

0 / 15 店がつながっています

友だち追加の URL

https://line.me/R/ti/p/@e2ebot

コピー

導入先ポータル「LINE で受け取る」にも同じ案内と 6 桁の番号が出ます。導入先が友だち追加して番号を送ると、つながります

まだつながっている導入先はありません

図12 保存直後は「Webhook の検証待ち」。公式アカウントの名前が出て、下に「Webhook URL」が出る（図は手元の例。本番の URL は https://app.apps-ai.com/api/line/webhook/〈メーカーの名前〉）

それまで別の公式アカウント（テスト用の窓口）がつながっていた場合、この「保存」で切り替わり、**全部の導入先の LINE の結び・発行済みの番号・未送信の知らせが消えます**（店は番号で結び直し）。デモが終わり、送信待ちが無いのを確かめてから保存してください。

7. Webhook を設定する (LINE Developers)

[↑ 目次](#)

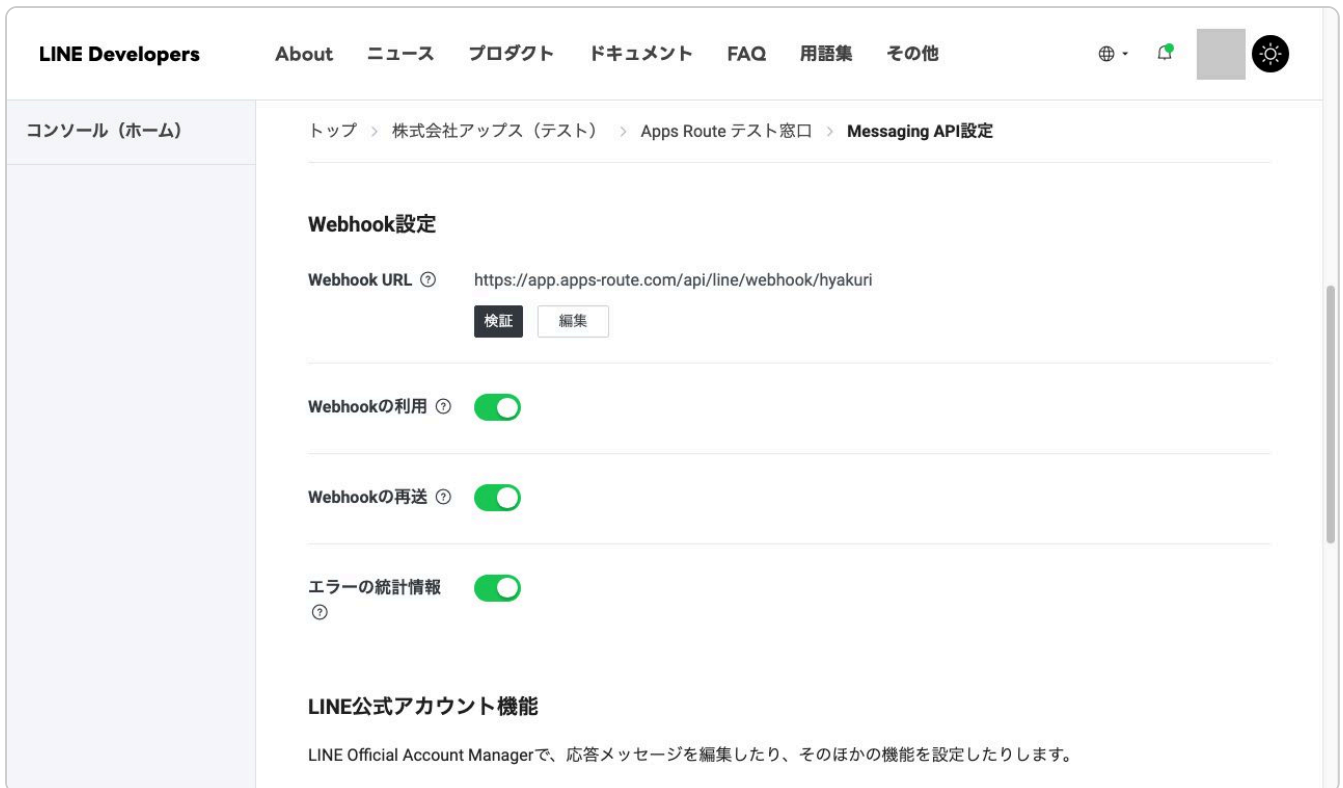


図13 LINE Developers > チャネル > 「Messaging API設定」タブ > Webhook設定。「編集」→ URL を貼る → 「更新」→ 「検証」→ 「成功」→ 「Webhookの利用」をオン

1. LINE Developers のチャネル > タブ「Messaging API設定」> Webhook設定 の「編集」を押し、コピーした Webhook URL を貼って「更新」。
2. 「検証」を押す → 「成功」と出れば OK（図13）。失敗したら、URL の貼り間違い（末尾の名前まで）・Apps AI に貼ったチャネルシークレットの違いを確かめる。
3. 「Webhookの利用」をオンにする。
4. 「Webhookの再送」をオン（確認にチェック）、「エラーの統計情報」をオン（図14）。

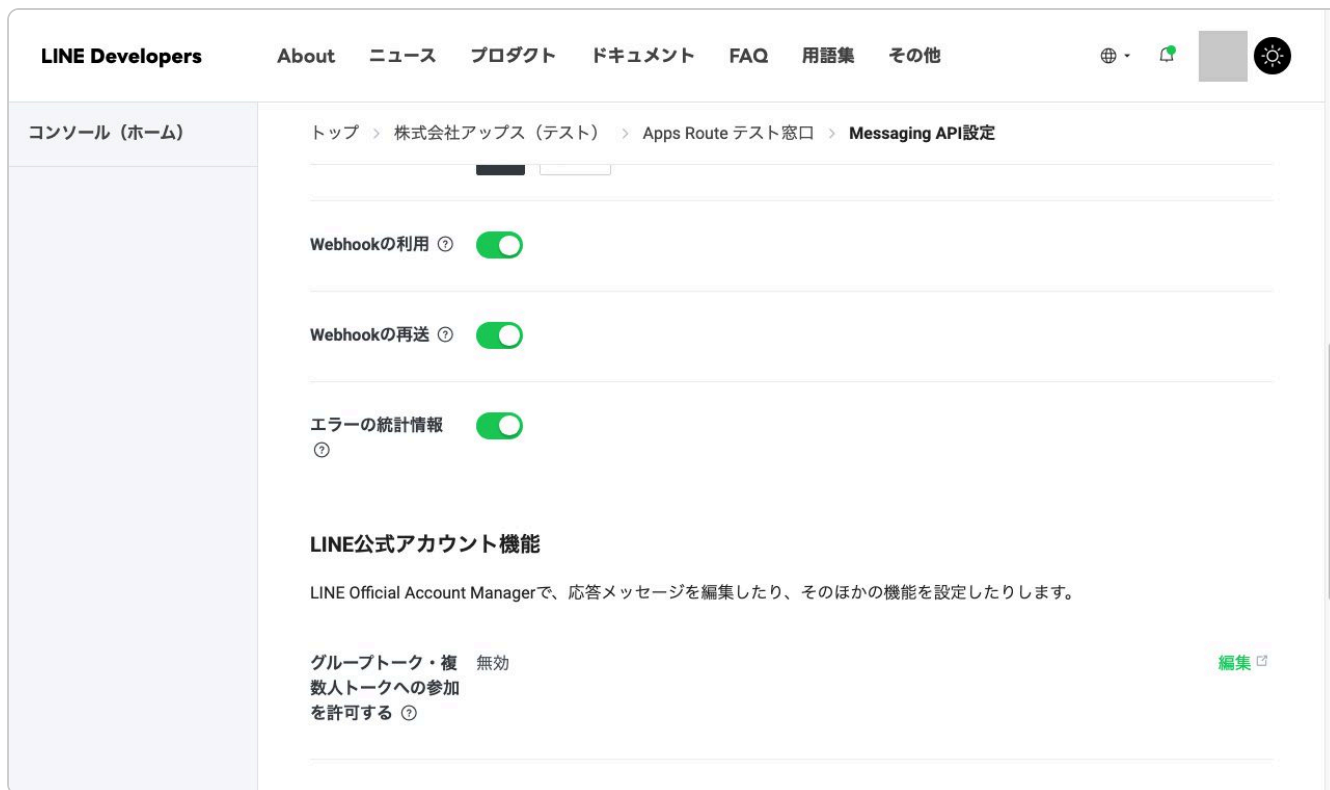


図14 「Webhookの再送」と「エラーの統計情報」もオン

8. 応答メッセージをオフにする

[↑ 目次](#)



図15 同じタブの「LINE公式アカウント機能」。「応答メッセージ」の「編集」から応答設定へ

1. 同じタブの「LINE公式アカウント機能」で「応答メッセージ」の「編集」を押す（図15）。LINE Official Account Manager の応答設定が開く。

2. 応答メッセージ オフ・Webhook オン・あいさつメッセージ オフ にする（チャットもオフのまま）（図16）。これで、店が番号を送ったときの返事は Apps AI が返す。



図16 応答設定: 応答メッセージ オフ・Webhook オン・あいさつメッセージ オフ（チャットもオフのまま）

9. LINE ログイン（LIFF）を足す（店のログイン無し・5 分）

[↑ 目次](#)

店がメーカーから届いたリンクを LINE で 1 回タップするだけでつながり、以後のボタンがログイン無しで開くようにする設定です。LINE Developers で「LINE ログイン」のチャンネルを 1 つ作り、その中に LIFF アプリを 1 つ足して、2 つの値を Apps AI に貼ります。**Messaging API のチャンネルと同じプロバイダーの中に作る**のが肝心です（別のプロバイダーだと LINE の利用者 ID が別の値になり、知らせが届きません）。

1. LINE Developers (<https://developers.line.biz/console/>) に Business ID で入り、4 節で Messaging API のチャンネルを作ったプロバイダーを開く。
2. 「新規チャンネル作成」>「LINE ログイン」。欄: 会社・事業者の所在国・地域＝日本／サービスを提供する地域＝日本／チャンネル名＝「(会社名) 発注窓口 ログイン」(店の LINE の同意画面に出る名前)／チャンネル説明＝「導入先ポータルのログイン」／アプリタイプ＝**ウェブアプリ**／メールアドレス＝担当者のメール／プライバシーポリシー URL は認証済みプロバイダーのときだけ必須 → 規約に同意 → 「作成」。
3. 作ったチャンネルの「チャンネル基本設定」タブ>「リンクされたLINE公式アカウント」>「編集」>貴社の公式アカウント（同じプロバイダーのもの）を選んで「更新」。**これが無いと友だち追加の画面が出ません**。
4. 作ったチャンネルの「LIFF」タブ>「追加」。欄: LIFF アプリ名＝「(会社名) 導入先」／サイズ＝**Full**／エンドポイント URL＝Apps AI 「LINE 連携」の枠「LINE ログイン」のコピー欄の値（<https://app.apps-ai.com/liff/<メーカーの名前>>）／Scope＝**profile** と **openid** にチェ

ック／友だち追加オプション=**On (aggressive)** (同意画面のあとに友だち追加の画面が出ます。追加するかは店の人が選びます) → 「追加」。出てきた **LIFF ID** (例 2001234567-AbCdEfGh) を控える。

5. 「チャンネル基本設定」タブの「**チャンネル ID**」を控える (Messaging API のチャンネル ID とは別の番号)。チャンネルが「開発中」の間は、チャンネルの Admin・Tester の LINE だけで試せます。一般の店に渡す前に、同じタブの上の方で「**公開済み**」にします (公開すると開発中に戻せません)。
 6. Apps AI メーカー管理画面、「LINE 連携」> 枠「LINE ログイン (店のログイン無し)」に LIFF ID と LINE ログインのチャンネル ID を貼り、「LINE ログインを保存」。札が「設定済み」になり、トークの下ボタンが LINE ログインの道に入れ直されます。保存は形の検査だけなので、貴社のテスト担当者の LINE で 10 節の一巡 (登録リンク → つながりました → ボタンでログイン無し) を確かめてから店に渡します。
- これで台帳 (クライアント台帳) の「LINE で登録する店を増やす」が使えます (店の登録と案内は「導入先 (サロン) の登録と、LINE で知らせを受け取る設定」のマニュアル)。
 - LINE ログインの同意画面に出る名前は、このチャンネルのチャンネル名です。店が見て分かる名前にしてください。
 - 外すときは同じ枠の「LINE ログインを外す」。登録リンクは全部使えなくなり、ボタンは入口の URL に戻ります (結んだ店の結びは残ります。すでに送った知らせの中のボタンは書き換わらないので、LINE だけで使っている店には先にログインリンクを渡してください)。別の公式アカウントに替えたときも LINE ログインは外れます (同じプロバイダーに作り直す)。

LINE Developers の欄の名前は 2026-10-05 時点の公式の案内で確かめたもので、実画面は未確認です。名前が変わることがあります。

10. 動くことを確かめる（実機・テスト担当者だけで）

[↑ 目次](#)

Apps AI

ルート美容機器株式会社 (架空)
メーカー管理画面

現在地

対応一覧 11

問い合わせ

台帳

支払いの設定

LINE の見え方

今月の報告

他の機能を追加

ツール連携

アカウント

ログインの設定

ログアウト

ルート美容機器株式会社 (架空) > ツール連携 > LINE 連携

LINE 連携

メーカーの LINE 公式アカウントをつなぎ、導入先の LINE に要対応を知らせる

いまの状態

接続済み

公式アカウント

Webhook

チャネル ID

チャネルシークレット

チャネルアクセストークン

最後に確かめた日時

リッチメニュー

今月の知らせ

届かなかった知らせ

ルート美容機器 発注窓口 (検索) @e2ebot

2026-10-15 17:36 に署名の合った Webhook が届きました (設定が合っています)

1234567890

末尾 cdef (保存済み・画面には出ません)

末尾 6d2a (保存済み・画面には出ません)

2026-10-15 17:36

2026-10-15 17:36 に入力しました (注文する・注文の状況・問い合わせ)。導入先の LINE のトークの下に出ます

LINE が受け付けた 0通 (無料のプランは月 200通まで。案件と問い合わせの返信の知らせを数え、友だち追加などへの自動の返事は数えません。届いたかは LINE 側の記録)

今月 0通

もう一度つなぐ

リッチメニューを入れ直す

設定を外す

設定を変える

チャネル ID

1234567890

LINE Developers > チャネル基本設定

チャネルシークレット

同じ画面の「チャネルシークレット」(32 文字)。Webhook の署名の確かめに使います

チャネルアクセストークン (長期)

Messaging API 設定の「チャネルアクセストークン (長期)」を発行して貼ります。保存すると画面には末尾の4文字だけ出ます

LINE につないで保存

LINE ログイン (店のログイン無し)

未設定

設定すると、店はメーカーから届いた登録リンクを LINE で 1 回タップするだけでつながり、トークの下ボタンと知らせのボタンはログイン無しでその面が開きます (LINE が本人確認)。メールもパスワードも要りません。

LIFF アプリの「エンドポイント URL」に貼る値

http://127.0.0.1:63116/liff/route

コピー

設定の手順 (LINE Developers 側・5 分)

LIFF ID

2001234567-AbCdEfGh

LINE Developers > LINE ログインのチャネル・LIFF タブ

LINE ログインのチャネル ID

2001234567

同じチャネルの「チャネル基本設定」タブ。Messaging API のチャネル ID とは別の番号です

LINE ログインを保存

LINE Developers に入れる値

Webhook URL

http://127.0.0.1:63116/api/line/webhook/route

コピー

Messaging API 設定の「Webhook URL」に貼り、「検証」が成功したら「Webhook の利用」をオンにします

設定の手順 (LINE 側)

導入先への案内

0 / 15 店がつながっています

友だち追加の URL

https://line.me/R/ti/p/@e2ebot

コピー

導入先ポータル「LINE で受け取る」にも同じ案内と 6 桁の番号が出ます。導入先が友だち追加して番号を送ると、つながります

まだつながっている導入先はありません

図17 検証が通ると Apps AI の札が「接続済み」になり、「導入先への案内」に友だち追加の URL が出る

1. Apps AI の「LINE 連携」を再読み込みし、札が「接続済み」になっていることを見る（図17）。これは「署名の合う Webhook を受けた」印で、通知が届くことまでは保証しない。
2. 導入先ポータル（テスト用の店）に入り、「LINE で受け取る」を開く（図18・19）。
3. スマホで「LINE で友だち追加」→ LINE が開く → 「追加」。
4. 画面の 6 桁の番号を公式アカウントのトークに送る → 「〇〇 とつながりました」と返る → 画面の「つながったか確かめる」を押す → 店側の札が「つながっています」になる（図20）。番号は発行から 30 分・1 回限り。「番号を出し直す」と前の番号は使えなくなる。
5. テストの注文を 1 件入れる → LINE に「ご注文を受け付けました」（文だけ）→ PC のメーカー管理画面で受け付けて在庫・納期の回答を送る → LINE に「在庫と納期の回答が届きました」と「振込先を見る」のボタン → 押してログインし、その案件の面が開けば OK。
6. メーカー側の「LINE 連携」で店数が増えていること（図21）、「LINE の見え方」で各場面の文を確かめられる（図22）。

つなぎ方の決まり: 同じメーカーの中では、1 つの LINE（1 人）は 1 店だけにつなぎ、1 店の通知先も 1 人だけ。同じ LINE で別の店の番号を送ると、前の店の結びは外れる。複数の店を試すときは店ごとに別の LINE（担当者）を使う。

Apps AI

THE LAYER 梅田（羽エクステ専門店） 導入先ポータル

お店の現在地
いまここ
注文する
保証・修理を頼む
講習・認定
問い合わせ
LINE で受け取る
自店舗

ログインの設定
ログアウト

THE LAYER 梅田（羽エクステ専門店） LINE で受け取る

LINE で受け取る

メーカーの LINE 公式アカウントとつながると、要対応になったときに LINE にお知らせが届きます

状態 未接続

下の 2 つで、お店の LINE とメーカーの公式アカウント ルート美容機器 発注窓口（検算）をつなぎます。

1. 公式アカウントを友だち追加する

下のボタンで LINE が開きます。「追加」を押してください。

[LINE で友だち追加](#)

友だち追加の URL

[コピー](#)

2. この番号をトークに送る

777869

友だち追加のあと、公式アカウントのトークにこの 6 桁の番号を送ってください。「〇〇 とつながりました」と返ってきたら完了です。

番号は 30 分で切れます（期限 2026-10-15 18:06）。切れたら出し直してください

[番号を出し直す](#) [つながったか確かめる](#)

図18 導入先ポータル、「LINE で受け取る」（PC・見本の店）。友だち追加のボタンと 6 桁の番号



LINE で受け取る

メーカーの LINE 公式アカウントとつなぐと、要対応にな…

状態

未接続

下の 2 つで、お店の LINE とメーカーの公式アカウント ルート美容機器 発注窓口（検算）をつなぎます。

1. 公式アカウントを友だち追加する

下のボタンで LINE が開きます。「追加」を押してください。

 LINE で友だち追加

友だち追加の URL

<https://line.me/R/ti/p/@e26>

 コピー

2. この番号をトークに送る

777869

友だち追加のあと、公式アカウントのトークにこの 6 桁の番号を送ってください。「〇〇 とつながりました」と返ってきたら完了です。

番号は 30 分で切れます（期限 2026-10-15 18:06）。切れたら出し直してください

 番号を出し直す

✓ つながったか確かめる

図19 同じ画面（スマホ）



LINE で受け取る

メーカーの LINE 公式アカウントとつなぐと、要対応にな…

状態

つながっています

公式アカウント **ルート美容機器 発注窓口（検
算）@e2ebot**

つないだ日時 **2026-10-15 17:36**

在庫と納期の回答・入金の確認・出荷・要対応の知らせが LINE に届きます。LINE のボタンを押すと、このポータルとその面が開きます。

 外す

図20 番号をトークに送って「〇〇 とつながりました」と返ったら、「つながったか確かめる」を押す。店側の札は「つながっています」（スマホ）

Apps

ルート美容機器株式会社 (架空)
メーカー管理画面

現在地

対応一覧 11

問い合わせ

台帳

支払いの設定

LINE の見え方

今月の報告

他の機能を追加

ツール連携

アカウント

ログインの設定

ログアウト

ルート美容機器株式会社 (架空) > ツール連携 > LINE 連携

LINE 連携

メーカーの LINE 公式アカウントをつなぎ、導入先の LINE に要対応を知らせる

いまの状態

接続済み

公式アカウント

Webhook

チャンネル ID

チャンネルシークレット

チャンネルアクセストークン

最後に確かめた日時

リッチメニュー

今月の知らせ

届かなかった知らせ

ルート美容機器 発注意口 (検算) @e2ebot

2026-10-15 17:36 に署名の合った Webhook が届きました (設定が合っています)

1234567890

末尾 cdef (保存済み・画面には出ません)

末尾 6d2a (保存済み・画面には出ません)

2026-10-15 17:36

2026-10-15 17:36 に入れました (注文する・注文の状況・問い合わせ)。導入先の LINE のトークの下に出ます

LINE が受け付けた 0通 (無料のプランは月 200通まで。案件と問い合わせの返信の知らせを数え、友だち追加などへの自動の返事は数えません。届いたかは LINE 側の記録)

今月 0通

もう一度つなぐ

リッチメニューを入れ直す

設定を外す

設定を変える

チャンネル ID

1234567890

LINE Developers > チャンネル基本設定

チャンネルシークレット

同じ画面の「チャンネルシークレット」(32 文字)。Webhook の署名の確かめに使います

チャンネルアクセストークン (長期)

Messaging API 設定の「チャンネルアクセストークン (長期)」を発行して貼ります。保存すると画面には末尾の4文字だけ出ます

LINE につないで保存

LINE ログイン (店のログイン無し)

未設定

設定すると、店はメーカーから届いた登録リンクを LINE で 1 回タップするだけでつながり、トークの下ボタンと知らせのボタンはログイン無しでその面が開きます (LINE が本人確認)。メールもパスワードも要りません。

LIFF アプリの「エンドポイント URL」に貼る値

http://127.0.0.1:63116/liff/route

コピー

設定の手順 (LINE Developers 側・5 分)

LIFF ID

2001234567-AbCdEfGh

LINE Developers > LINE ログインのチャンネル > LIFF タブ

LINE ログインのチャンネル ID

2001234567

同じチャンネルの「チャンネル基本設定」タブ。Messaging API のチャンネル ID とは別の番号です

LINE ログインを保存

LINE Developers に入れる値

Webhook URL

http://127.0.0.1:63116/api/line/webhook/route

コピー

Messaging API 設定の「Webhook URL」に貼り、「検証」が成功したら「Webhook の利用」をオンにします

設定の手順 (LINE 側)

導入先への案内

1 / 15 店がつながっています

友だち追加の URL

https://line.me/R/ti/p/@e2ebot

コピー

導入先ポータル「LINE で受け取る」にも同じ案内と 6 桁の番号が出ます。導入先が友だち追加して番号を送ると、つながります

THE LAYER 梅田 (羽エクステ専門店)

2026-10-15 17:36 につながりました

図21 メーカー側では「導入先への案内」の店数が増える



図22 メーカー管理画面、「LINE の見え方」。導入先の LINE に届く文とボタンを場面ごとに確かめられる見本（下のリッチメニューは見本の 6 マス。実際の導入先の LINE には、Apps AI が「LINE につないで保存」のときに自動で入れる 3 つのボタン（注文する／注文の状況／問い合わせ）が出る）

11. 導入先（店）への案内

[↑ 目次](#)

実店舗への案内は、**手順 9 の実機確認・テストの商品・振込先・注文の片づけ・本番の商品と振込先の確認・両社の利用者情報の取扱いの整理**が済んでから行います。それまではテスト担当者だけで確かめます。

1. 店に伝えること（一続きで）：導入先ポータルにログイン（メーカーが伝える入口
<https://app.apps-ai.com/〈メーカーの名前〉/salon/login>）→ 左メニュー「LINE で受け取る」→ 「LINE で友だち追加」→ 画面の 6 桁の番号を公式アカウントのトークに送る → 「つながったか確かめる」。友だち追加の URL だけでは番号が取れないので、ポータルの入り方まで伝える。
2. 以後、注文の受け付け・回答・入金確認・出荷・要対応の知らせが店の LINE に届く。1 店の通知先は 1 人（店の担当者 1 人の LINE）。
3. 担当者が替わるとき: 店の「LINE で受け取る」で「外す」→ 「はい」→ 新しい番号が出る → 新しい担当者が友だち追加して番号を送る。外した時点で前の担当者への通知は止まる。

12. 2 人目の管理者と、Apps に手伝ってもらったときの権限

[↑ 目次](#)

招待先は 4 つ（公式アカウント・組織・プロバイダー・チャンネル）で、それぞれ別の画面から招待します。

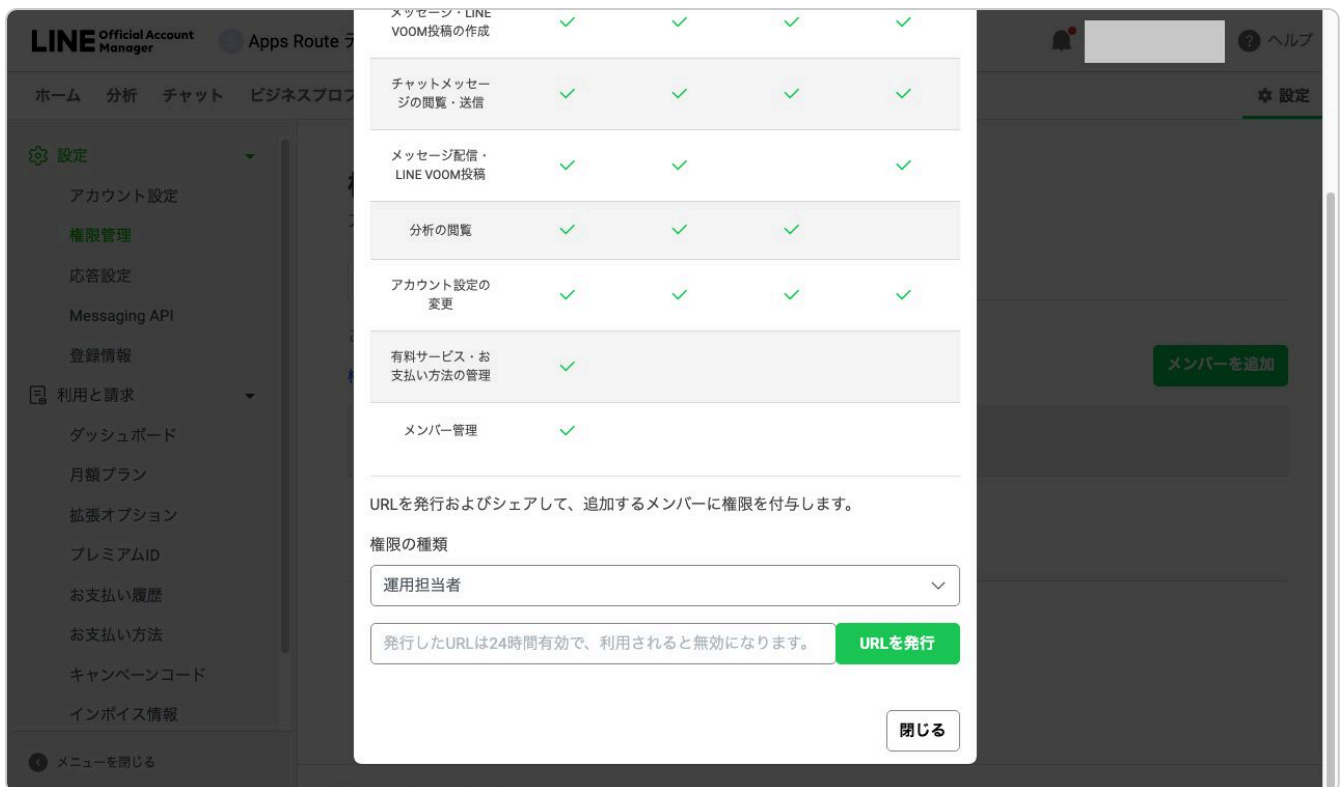


図23 公式アカウントの 設定＞権限管理＞「メンバーを追加」。権限の種類の欄で「管理者」を選び「URL を発行」（図は選択欄の例。運用担当者が選ばれた状態で写っている）

1. 公式アカウント: 設定＞権限管理＞「メンバーを追加」→ 権限の種類で「管理者」→ 「URL を発行」→ 発行した URL をメール等で 2 人目に渡す → 2 人目が開いて受諾（図23）。
2. 組織: ビジネスマネージャー（<https://manager.line.biz/> の「ビジネスマネージャー」）＞対象の組織＞「ユーザー」＞「ユーザーを招待」＞役割「管理者」＞「招待 URL を発行」→ 渡す。
3. プロバイダーとチャンネル: LINE Developers で、プロバイダーの「権限設定」とチャンネルの「権限設定」の**それぞれ**から「メールで招待」→ Admin（図24 はチャンネルの画面。プロバイダーの Admin を付けてもチャンネルの Admin は自動では付かない）。
4. 受諾後、2 人目が各自の ID で 4 つの画面に入れることを確かめる。

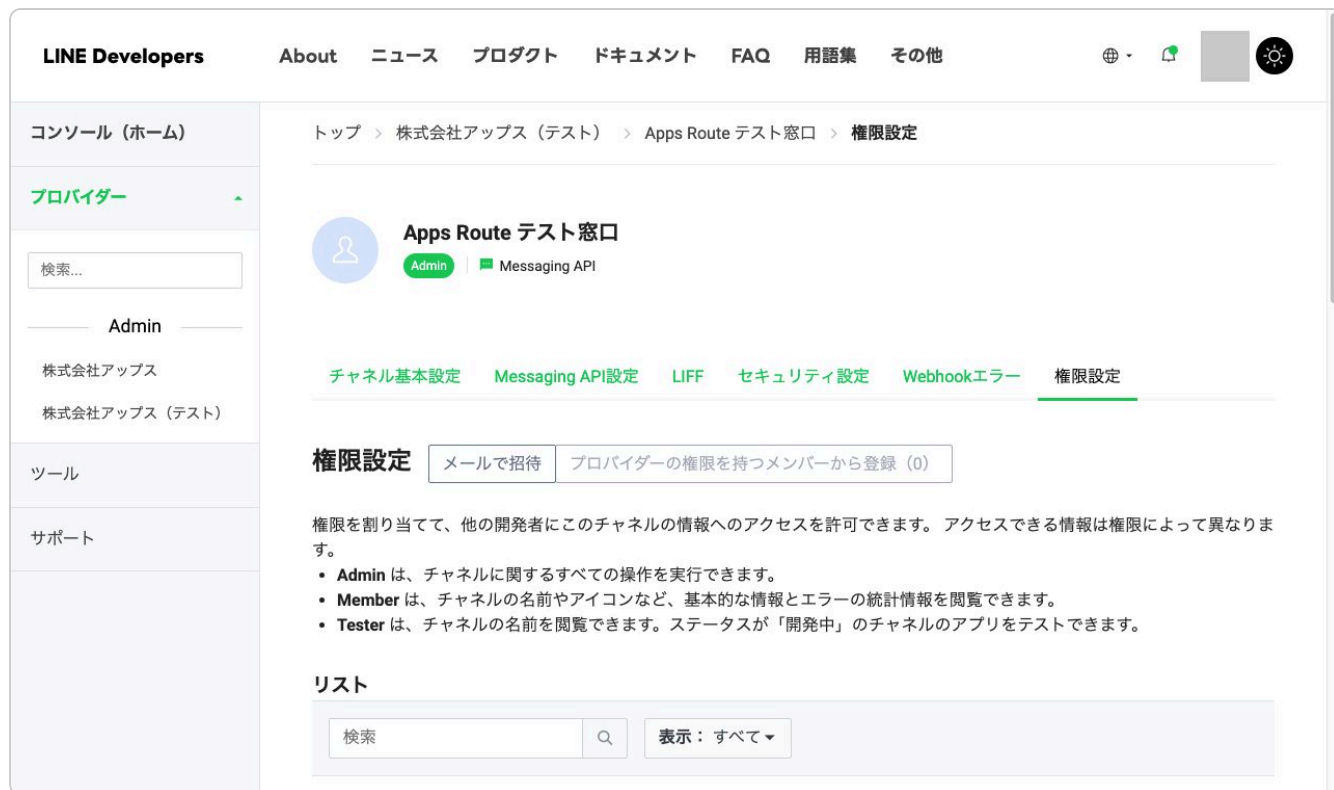


図24 LINE Developers › チャネルの「権限設定」タブ › 「メールで招待」(Admin/Member/Tester)。プロバイダーにも同じ形の「権限設定」がある(図のプロバイダー名は Apps のテスト用)

作業	Apps に渡す権限
Zoom で案内し、先方が操作する	付与なし（基本）
応答設定などの日常の操作の支援	運用担当者
Messaging API の有効化・組織の接続	先方の管理者が操作。代行が要るときだけ一時的に管理者
Webhook・トークンの設定変更	そのチャネルの Admin
Webhook のエラーの調査だけ	チャネルの Member
プロバイダー・組織そのものの管理	渡さない

済んだら外し、招待した各画面で消えたことを確かめます。Apps を外しても、すでに貼ったトークンは無効になりません（漏れた疑いがあれば再発行して貼り直す）。

13. 困ったとき

[↑ 目次](#)

症状	見るところ
LINE Developers の「検証」が失敗する	Webhook URL の貼り間違い（末尾の名前まで）・Apps AI に貼ったチャネルシークレットが違う（Apps AI で貼り直して保存してから、もう一度「検証」）

Apps AI の札が「接続済み」にならない	LINE Developers で「検証」→「成功」のあと、Apps AI の「LINE 連携」を再読み込みする。「Webhookの利用」がオンか。※「もう一度つなぐ」は保存済みのトークンで公式アカウントを確かめ直すボタンで、Webhook の検証ではない
保存で「channel_mismatch」と出る	入れたチャンネル ID と、貼ったトークンが属するチャンネルが一致していない。同じチャンネルの「チャンネル基本設定」のチャンネル ID と「Messaging API設定」で発行したトークンの両方を確かめる
既存のプロバイダーが候補に出ない	操作する担当者にそのプロバイダーの Admin 権限が無い。社内の管理者に確かめる（新しく作らない）
組織に接続できない	公式アカウントの「管理者」と組織の管理者の権限が要る。組織 ID で接続するときは「URL を発行」して組織の管理者に聞いてもらう
ビジネスマネージャーの「組織の認証審査」がステップ 3（アカウント・チャンネルを接続）で止まる・「認証済アカウントである必要があります」と出る	進めなくてよい（Apps AI には不要。3 節の注記）。公式アカウントが組織につながっていれば（設定、アカウント設定の「組織（ビジネスマネージャー）」欄に組織名が出る）、そのまま 4 節へ
店が番号を送っても何も返ってこない	応答設定の Webhook がオンか・応答メッセージがオフか・Apps AI の札が「接続済み」か（Webhook の設定・署名・トークンを確認する）
「この番号は使えません」と返る	番号の期限切れ（発行から 30 分）か、違う番号。店の「LINE で受け取る」で「番号を出し直す」→新しい番号を送る。送り間違いが続くとしばらく止まる（画面の案内の分数だけ待つ）
通知が届かない	「LINE 連携」の「届かなかった知らせ」と LINE 側の当月の通数（無料プランは月 200 通。超えた分は送られない）。店が友だちをブロックしていないか
秘密が漏れたかもしれない	LINE Developers でチャンネルシークレットとトークンを再発行する。再発行すると前の値は無効になり、Apps AI に貼り直して保存するまで Webhook の検証と知らせが止まる。貼り直し → 保存 → Webhook の検証 → 実機確認までやり直す。同じ値を使っている他のサービスがあればそちらも直す。前のトークンの有効期間は延ばさない

14. 料金・認証・個人情報

[↑ 目次](#)

- ・ 料金: 無料のコミュニケーションプランは月 200 通（日本）。Apps AI からは 1 注文で 5 通ほど（目安。「知らせる」を使えば増える）。一斉配信も同じ枠。**LINE Official Account Manager の当月の通数を見て、上限に近づく前にライトプラン（月 5,000 通・5,000 円税別）へ。**
- ・ 認証済アカウント（認証バッジ）は任意で、後でよい（申請中も公式アカウントは使える・審査は 5〜10 営業日・申請後はアカウント名を変えられない）。公式アカウントの認証・組織の認証（ビ

ジネスマネージャーの「組織の認証審査」)・プロバイダーの認証は別のもので、どれも Apps AI とのつなぎには要らない (3 節の注記)。

- 個人情報: Apps AI は LINE のユーザー ID と店の結び・通知の内容を扱う。利用目的の表示・Apps への処理の委託・保存と削除・担当者が替わったときの結びの解除は、実店舗の招待・LINE 連携を始める前に両社で決める。
- このマニュアルの画面は 2026-10-04 時点のもの。LINE 側の画面は変わることがある。